

アソカ講話078

テーマ「自分の顔に責任を持つ」

アメリカ大統領であったリンカーンは、「40歳過ぎれば自分の顔に責任を持つ」との名言を残している。人の顔や雰囲気は自分が作り出したものである。

顔やその人の持つ雰囲気は、その人の履歴書。言っている内容と持っている雰囲気が違う人は、言っている内容の人生を生きていない。他者に対して温かな雰囲気(オーラ)を出しているか、人としての優しさを持っている人か、正直な人か、「自分が」という我欲や名誉欲を出している人か、あからさまな金銭欲・物欲を感じさせるものを出している人か、己自身の欲求不満を社会や周囲に責任転嫁し、批判や不満をくすぼらしている人か、少しずつ分かるようになってきた。長年の生き方が顔や姿に出る。嘘はつけないものである。

私はどうだろう。自らが欲望に翻弄されないためにも、常に鏡を見て己の心が鏡に映る姿をいつもチェックしていきたい。我を捨て、己の欲を可能な限り小さくし、周囲の人々を一人でも多く幸せな気持ちにするために、自分に何ができるかを考える、そんな生き方をしたいと思う。様々な失敗や挫折の経験を経て、そう思うようになった。私は今日一日どれだけ他者のことを考えただろうか？